

一般質問 (2)

集合住宅に戸別収集の恩恵なし！  
市民の理解をどう得ていくのか

田村 ひろゆき (無所属)

資源物戸別収集化について

【質問】 5月1日号の市報には「資源物が出しやすくな

ります」と書かれていたが、集合住宅の住人にとって出しやすくなるのか。

【答弁】 集合住宅には恩恵が感じられないという意見があることは承知している。

【質問】 市内6割の世帯は集合住宅。これからどうやって理解を得ていくのか。

【答弁】 9月15日号の市報、HP、ECO羅針盤の特集号で紹介していきたい。

【質問】 汚れたラップや汚れの落としづらいプラスチック容器包装類は可燃ごみで収集できないか。

【答弁】 その他のプラスチック類も可燃ごみと間違えて排出される懸念がある。

【意見】 周知の問題だ。衛生上の問題からも検討を。元号について

【質問】 行政文書はなぜ元号使用が多いのか。市民の提出書類にルールはあるのか。

【答弁】 慣行として元号を使用している。市民の提出書類は元号・西暦いずれも当然に受理すべきと考える。

【意見】 記載例には「令和」と入っている。西暦でもよいと書くなど工夫すべき。

【その他質問等】  
◇保谷庁舎の跡地活用  
◇職員の喫煙状況  
◇職員の安全運転研修

ダミー入札を防ぐ対策を！  
農薬不使用の市の方針を広報せよ

森 てるお (無所属)

【質問】 事業実施前に消滅する事業者が入札に参加できるのか。事例はあるか。

【答弁】 事例はないが、電子

入札のため、登録が抹消されていなければ参加は可能だ。事業者から正式に通知があった場合は指名競争入札の指名業者から外す。

【質問】 入札以前にわかれば、指名を外す、当然入札参加できない。これが一般的だが、自治法に明文の規定はない。できるとなると、入札停止処分を受けた企業が自分の子会社に落札させて、その会社を合併で飲み込む。



2020東京五輪パラリンピック  
夢ある取り組みに邁進を！

納田 さおり (無所属)

オリパラ聖火リレー

【質問】 来年7月15日の市内走行が決定した聖火リレーだが、江戸時代から宿場町として発展してきた西東京市の歴史と文化を世界の人々の心に焼きつけられるルートを要請すべきだ。



Host Town Holland  
©Embassy of the kingdom of the Netherlands in Japan  
オランダ大使館マスコット レンジ(左)とランダ(右)

【答弁】 市内の具体的な走行経路は年末頃発表予定。組織委員会の動向に注視する。

【質問】 地域スポーツ振興の担い手の体育協会が大会運営に具体的にかかわりを持っていない。市は後押しを。

【答弁】 パラスポーツ事業には体協の協力を得ている。

【意見】 オランダホストタウンの気運醸成にゴッホのひまわりの植栽を提案する。

【質問】 ハザードマップ改定  
改訂版石神井川及び

高齢者・障がい者・子どもたちが  
安心・安全に暮らせる街へ！

佐藤 大介 (立憲)

【質問】 介護施設内で虐待があり、通報があった場合の対応について伺う。

【答弁】 市の職員が直ちに調査に入り、関係者への聞き取り調査等により確認を行っている。

【質問】 職員が調査に入るとの事だが定期的な施設の立ち入り検査は行っているのか。

【答弁】 指定権限を持つ都が6年ごとに検査している。

【意見】 6年ごとだと少なすぎる。未然防止のため、今後、市でも検査できる仕組みづくりを要望する。

【質問】 現在、市内に設置されている点字ブロックは破損箇所が多数あるため、総点検を要望する。また、駅前にエスコートゾーンの設置を要望する。見解は。

【答弁】 補修工事の依頼もあり、引き続き市道のパトロールにあわせて実施していく。エスコートゾーン設置

熱中症対策について  
シルバー人材センターの取り組み

坂井 かずひこ (立憲)

【質問】 昨年はまれに見る猛暑だったが、本年度、市として取り組んでいく熱中症対策について伺う。

【答弁】 気象庁による6月からの3カ月予報では、ほぼ平年並みの気温と聞いている。しかしながら湿度が高くなり暑い日が続くとのことでもあり、気象情報等に基づき、熱中症予防の普及啓発及び注意喚起に努めていく。

【質問】 ゲリラ豪雨、落雷、突風対策について。最近の動向について対策を伺う。

【答弁】 自助・共助・公序により地域防災力を強化することが必要であることから、総合防災訓練や防災イベントのほか、市職員による自

治会、地域団体等に対する防災講話により市民の防犯意識の醸成を図る。

【質問】 高齢化が進む中でシルバー人材センターにおける会員数や就業者数はどうなっているのか。新たな取り組みなどあれば伺いたい。

【答弁】 これまでの事業実績及び成果と課題を検証し、新たに策定した「中期5カ年計画」のスタート都市となり4本の項目を掲げ、この計画達成に向け取り組んでいる。就業機会の取り組みについては、一人でも多くの会員が希望する職種に就業できるよう、引き続き新規就業先の開拓・確保に積極的に取り組んでいく。

市民サービス向上のためにも、嘱託員、臨時職員の不安の払拭を！

森 しんいち (立憲)

【質問】 当市では、学童クラブ、公民館、図書館、保育園等、市民と直接接する職場に多くの嘱託員や臨時職員が配置されています。この方々が、来年4月から会計年度任用職員という新たな雇用形態に変更されます。市民から信頼を得ている経験豊かな職員が不安なく、これからも継続して働ける環境を構築することは、市民サービスの面からも重要であると考えます。市長の見解を伺います。

【市長】 会計年度任用職員制度への移行により市民サービスが低下することのないよう、任用については現在働かれている職員の皆様が

培ってこられた知識や経験も一定配慮した採用制度を検討しております。

【質問】 本年4月から建設キャリアアップシステムが全国で本格実施となりました。西東京市が全国に先駆けて公共工事に本システムの運用を導入し、工事請負業者へ促すことができないか。市長の見解を伺います。

【市長】 建設キャリアアップシステムの構築には、建設技能者の高齢化や若者の減少など建設作業の担い手を確保するという背景もあります。本市としては、国や

(一財)建設業振興基金による普及啓発活動に積極的に協力してまいります。



点字ブロック